

歷史

秉持信念開疆拓土的前人的精神仍留在此地

「YARAMAIKA」

▶ 信念で拓いた先人たちのやらまいか精神が息づく地

「YARAMAIKA」是濱松著名的方言，意思是「做做看吧」、「何不試試看」，代表勇敢挑戰新事物的精神。在這句口號的號召下，當地的音樂與汽車產業、光電產業等世界知名企業輩出。農林水產業方面，也開拓了荒蕪的三方原台地，並推動農業現代化，透過前人不斷的努力，奠定了今日的發展。我們繼承了從過去延續至今的「YARAMAIKA」精神，致力於發展新產業與文化。

浜松市を象徴する言葉として「やらまいか」という方言があります。これは「やってみよう」「やってみようじゃないか」を意味し、新しいことに果敢にチャレンジする精神を表します。これを合い言葉に、音楽や自動車産業、光・電子産業など、世界を代表する企業を輩出してきました。農林水産業でも、荒れ果てた三方原台地を開拓し農業の近代化を図るなど、先人たちのたゆまぬ努力の上に今日の発展が見られます。過去から続く「やらまいか」の精神を受け継ぎ、新しい産業や文化の発展を目指します。



農業

農業

戰後開墾當時未開發の三方原台地，首先種植馬鈴薯、麥子等，接著又發展花生、蘿蔔栽培、畜產業、水果與花卉等園藝栽培等。1967年，三方原水路開通，使當地轉型為先進農業地帶。

戰後、未開だった三方原台地を開墾し、じゃがいもや麦などをはじめ、落花生や大根の栽培、畜産、くだものや花きといった園芸栽培などが行われました。1967年には三方原水路が通水し、先進農業地帯に生まれ変わりました。

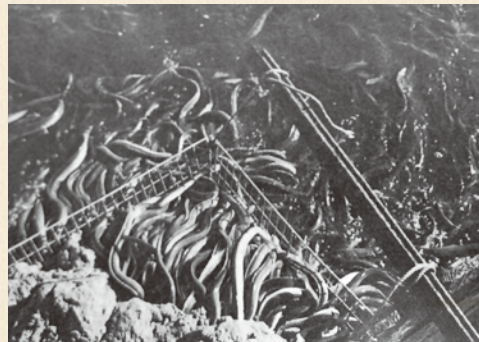


水産業

水産業

利用小型漁船所從事的沙丁魚、鯉魚、蝦等漁業是以濱名湖與遠州灘為中心，湖內則自古養殖牡蠣與海苔。其中從明治時代中葉（1890年代）開始的鰻魚與食用鯿養殖更是聞名日本全國。

浜名湖や遠州灘を中心とした小型漁船によるイワシやかつお、エビなどの漁業、湖内では牡蠣や海苔の養殖が古くから行われていました。特に明治中頃（1890年代）に始まったうなぎやスッポンの養殖は全国的にも知られています。



林業

林業

被稱為日本三大美林之一的天龍森林從江戶時代中葉（1700年代）開始進行大規模植林，利用天龍川將木材運至河口，再運送到遙遠的江戶。明治時代中葉（1890年代）為了防範水災，由金原明善推動植林計畫，確立了以杉木、檜木人工林為主體的林業。

日本三大美林に数えられる天竜の森は、江戸時代中頃（1700年代）から本格的な植林が始まりました。天竜川を使い河口に木材を運び、遠く江戸へ運ばれました。明治時代中期（1890年代）には水害対策として、金原明善翁による植林事業が行われ、スギ、ヒノキの人工林を主体とした林業が確立されました。

